### □□北之庄城の歴史・城主

■■本城の成立に関しては、同時代の資料を欠き、 詳細は不明です。「謎の山城」と呼ばれる所以です。 時代は下りますが江戸期の資料は何点か見つかって おり、八幡山を描いた絵図に「佐々木六角ノ付城ア リ」と付記されたものがあり、江戸前期成立の「淡海温 故録」に「六角崇永※1が岩崎山に城を築き在城」「六 角氏綱の二男**八幡左馬頭義昌※2**が後口の岩崎山に 在住にて八幡宮を守護」との記事が見えます。

なお、上記文献にいう「岩崎山」の所在については 長らく未確定で、八幡山とする研究者もありました。 現在は、正面の八幡山に対して、その背後の山域全 体(北之庄山を含む広義の岩崎山)を指すとして「岩崎山城(文献 から)=北之庁城(遺跡名)」との考えが定着しています。

※1 六角氏頼…法名が崇永。南北朝時代の守護大名、近 江国守護。六角氏4代・6代当主。永源寺を建立。

※2 八幡義昌…八幡山義昌、川端(河端)義昌(義政)とも。 六角氏綱(戦国大名、近江国守護、六角氏13代当主)の二男。織 田信長の近江進攻に抵抗した六角義賢(承禎、六角氏15代 当主)は従兄。



八幡山古城之図「或ルヒト日ク佐々木の付城アリト」

# して沙心の昔話

下段曲輪の西虎口前から中央部にかけて「七つ 池」と呼ばれる円形の池(くぼみ)が6つ、サイコロの

6の目状 こむびます。地元に 次のような話が伝わります。

昔、城主の幼い姫様がオコ ボ(ぽっ(り)を履いて池に遊びに来 たところ、誤って池に落ちて亡く なったと云う。

「北之庄町の昔話と伝説」より

毎年11月23日に中世城跡を擁する滋賀県内 各地区が参加して、狼煙(の別)で琵琶湖を一周する 「琵琶湖一周のろし駅伝」を開催しています。北之庄 城は第1回から参加しており、城跡整備を進める「北 之庄里山を守る会」が主体となり、北之庄山山頂を狼 煙会場として関連イベントも実施しています。

当日は、本城南側の平 野部に位置する瓶割山城 (柴田勝家が六角氏の攻勢を受け 籠城)の狼煙を確認して、 本城西側の湖岸に位置 する水茎岡山城(足利将軍 義澄が拠り、義晴が誕生と伝わ る)に狼煙を繋ぎます。



# 登城ルート案内

①北之庄神社登山口から(尾根ルート)

北之庄神社(近江八幡市北之庄町1097)正面の石段を上 がって右奥へ進む。上段曲輪(北之庄山頂)への最短ル ート。所要20~30分。よく整備され、途中2か所の展 望のよい休憩所があります。城跡へのメインルートで す。登山口から人気のラコリーナへは東へ約500m。

#### ②岩崎登山口から(谷ルート)

百々神社

北之庄山 (八幡山)

登山道

ヴォーリズ老健センター(近江八幡市北之庄町492)西側 奥。打越峠で八幡山縦走路に合流し、南へ進んで上 り切ったところが下段曲輪の北東櫓台です。

#### ③八幡山城北の丸から

三角点のある北の丸 から縦走路を北へ下り、 高取峠から上り返すと、 北之庄神社からの登山 道と合流して、上段曲輪 に達します。北の丸から ♥の所要30~40分



北之庄里山を守る会: 〒523-0806 滋賀県近江 八幡市北之庄町 1097(北之庄公民館内) 北之庄公民館(北之庄神社登山口):JR 近江 八幡駅から北へ3km、近江バス長命寺行で 20 分、ラコリーナ前バス停下車東へ500m



城跡所在地:滋賀県近江八幡市北之庄町~南津田町(北之庄山頂部一帯)

## 「往還」散歩(長命寺街道)

北之庄山・岩崎山の東麓には、長命寺への巡 礼道であった古道が通じ、地元では「往環」または 「長命寺街道」と呼びます。この北之庄神社から岩 崎登山口へ向かう道沿いには、朽木氏陣屋跡、大 江(おいえ)の泉、大江稲荷社、大江観音堂、瘡(くさ)観 音堂(南北朝時代の観音像を安置)、高木地蔵尊など、歴 史を感じる見どころが続きます



北之庄里山を守る会(近江八幡市北之庄町)





